

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書】

(モデル地域名 豊栄・福富町地域)

I. 地域の概要 (平成15年4月1日現在)

豊栄・福富町地域 (モデル校数：高等学校1校 広島県立賀茂北高等学校)

II. 平成15年度の実践研究の概要

1. 推進地域の研究の見通しを踏まえて、モデル地域としての現状及び研究の計画・見直し等

(1) モデル地域における「総合的な学習の時間」の現状と問題点

現状

「総合的な学習の時間」の指導内容は「産業社会と人間」を踏襲し、キャリアエデュケーション的な観点から3年間の指導計画を作成している。以下具体的な内容を示す。

ア 平成15年度「総合的な学習の時間」

(ア) 「LET' S (Listen and Learn)」1年生 35時間

ボランティア実習等を行い、地域からのニーズにこたえていくことで、地域の理解を深め、地域との密着性を高める。

(イ) 「LET' S (Experience)」2年生 35時間

仕事に対する自らの考察をより具体的なものにするためインターンシップを体験する。さらに、自らの体験を発表することによって、表現力・コミュニケーション能力を身につける。

(ウ) 「LET' S(Think and Study)」3年生 35時間

ガイダンスを行い、小グループに分かれて、教科の枠にとらわれない、興味・関心の持てる課題を見つけ、学習活動を行う。課題研究した成果をレポート・作品などで発表する。これらの各学年の具体の活動名の頭文字を取ってLET' S (レッツ) と呼称している。

イ ボランティア活動や環境美化活動

週時程(時間割)の中には組み込まず、放課後に実施する。中学校は、「総合的な学習の時間」の一環として取り組んでおり、中高が合同で生徒全員で実施することが不可能な状態にある。本校の取組みを以下に示す。

(ア) 『ほっとプロジェクト』

町内の、独居高齢者の自宅を対象に軽作業をするボランティア活動で放課後に、ボランティア登録をした生徒を中心に実施している。

(イ) 『H.O.Tプロジェクト』

a 学校トイレ美化活動に係る環境整備の取組み

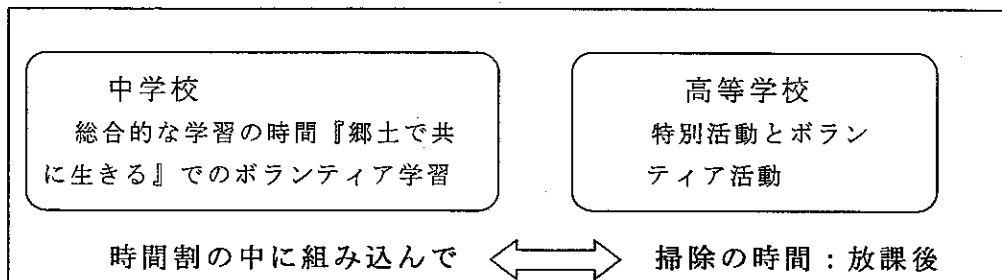
b トイレの掃除と校地周辺の道路を中心とした清掃美化活動の二つの活動を中心に、掃除の時間にクラス単位で実施

課題

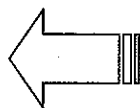
「総合的な学習の時間」の中に、ボランティア活動や環境美化活動の内容を組み込み、小中合同での活動を計画し、ふるさと探求的な指導(環境問題も含む)を小中高の12年間を通して、地域全体で指導する体制を確立すること。

ア 2年間を通じた研究の計画・見通し

(ア) 「総合的な学習の時間」の指導内容の拡充



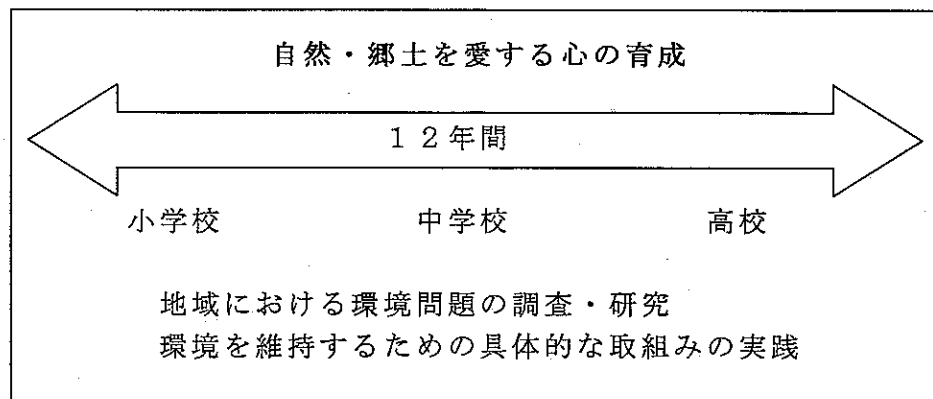
平成16年度の実施内容
『ふるさと探求』



『総合的な学習の時間』に組み込む

(イ) 小中高12年間を通して、「総合的な学習の時間」のねらいである、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力の育成すること。

学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにすること



(ウ) 町のITセンター構想に基づいて敷設された、光ケーブルネットワークを活用した「総合的な学習の時間」の指導の研究

イ モデル事業としての取組みの評価の観点と検証の方法

(ア) 調査や面接による児童生徒の学習歴や興味関心の把握
個に応じたきめ細かな指導の実施

(イ) 各学校の指導の目標や内容に基づいて、観点を定めた評価の実施

(ウ) 多様な評価方法の研究

授業ごとの生徒の自己評価・相互評価シート、ポートフォリオ評価など

(エ) 総合的な学習の時間の学習活動の成果＝「生きる力」をどう評価するかの研究
広島大学中坪孝之助教授による指導と評価

- (ア) 『「総合的な学習の時間」モデル事業」推進地域訪問
- (イ) 校内での担当者会議の実施
- (ウ) 外部講師との連携（指導の依頼）
- (エ) 「総合的な学習の時間」モデル事業に係る小中高合同研修会の開催
- (オ) 豊栄町保小中高一貫教育推進会議の開催

3. 平成15年度の成果及び課題

ア 実践研究の成果

- (ア) 校内での担当者会議のなかで、平成16年度の「総合的な学習の時間」の実践内容と評価方法について検討を進め、平成15年度中に年間指導計画案を策定することができた。
- (イ) 「総合的な学習の時間」モデル事業に係る小中高合同研修会を開催した。
「北稜高校の環境マネジメントについて」という内容で、KES（環境マネジメントシステム・スタンダード）の取得手続きと認証の過程及び校内での省資源・省エネルギー対策の実践等について指導を受けた。

講師 京都府立北稜高等学校 井上待子 教諭



「EM菌を活用し、生ゴミを資源化する取組を小中高で実施する。」という合意形成ができた。（2月25日から各校ですでに取組みを開始した）

<研修会参加者>

豊栄町教育委員会 教育長 豊栄中学校長+担当教諭 豊栄小学校長
 福富町教育委員会 教育長 福富中学校長+担当教諭
 賀茂北高等学校長+主任等6名

- (ウ) 豊栄町保小中高一貫教育推進会議が開催され、「自然・郷土を愛する心の育成」を共通テーマとして各所・学校で推進することを決定した。
<具体> 環境教育・ふるさと教育の内容で、発達段階に応じて実践する。

イ 実践研究の課題

- (ア) 従来の総合的な学習の時間＝「LET'S」の内容に、『ふるさと探求』的な学習内容を含んだものに拡充していく必要がある。
- (イ) 年間計画35時間の枠の中で、拡充した学習内容を指導していくため、指導内容を精選し、従来の計画を見直す必要がある。
- (ウ) インターンシップや、ボランティア活動などの実施時期について、長期休業中の実施も視野に入れた、学校行事全般の見直しが必要である。
- (エ) 「総合的な学習の時間」の指導目標を達成するために、関連する各教科間の横断的な連携を実施すること及び各授業を一定期間に集中して実施する必要がある。
- (オ) 「総合的な学習の時間」に関わって、地域の学校として地域に貢献できる活動を実践し、地域に根付いた学校づくりを推進するために、中学校との合同授業を実施し、中高6年間を継続した『ふるさと探求学習』とする必要がある。

ア 中高合同授業の実施内容・方法等の研究

- (ア) 町のITセンター構想に基づいた、光ケーブルを活用した合同授業の研究
広島大学中坪助教授による環境学の合同講演会の実施
- (イ) 中高合同のボランティア活動の研究
 - ・町内の高齢者へのボランティア
 - ・「ほっとサービスプラン」(=賀茂北高等学校のボランティア活動の名称)の活用
- (ウ) 中高合同による地域の環境整備活動の研究
地域の児童公園等の遊具などの整備及び清掃活動

イ 保小中高での総合的な学習の時間の取組みの研究

- (ア) EM菌やミミズを用いた生活廃棄物減少への取組み
肥料や有機土壌に生ゴミを変えていく取組み
- (イ) 植物の栽培を通して育成する心の教育の研究
 - ・エゴマ(荳胡麻)の栽培
 - ・福富町の「しゃくなげ館」を中心とした取組みとの連携

『総合的な学習の時間』モデル事業」豊栄・福富町推進地域
15年度取組みの概要、16年度の計画

実施時期	取組み概要	取組みのねらい等 (事業の評価の観点も含む)
平成15年6月	「総合的な学習の時間」モデル事業推進地域指定	
平成15年9月	<p>『「総合的な学習の時間」モデル事業』推進地域訪問</p> <p>○モデル事業の趣旨再確認 ・課題と成果</p> <p>○事業実施に係るスケジュールについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ねらい」に基づいた「目標」設定を各校で明確にし、どう配列していくか、工夫を重ねていく。 ・地域からどう支えてもらえるのかの分析を行う。
平成15年10月	<p>「総合的な学習の時間」に係る校内担当者会議</p> <p>福富中学校との連携</p> <p>○「アクアフェスタ」等環境教育の内容について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の具体的な実践内容を検討し、職員会議等で周知徹底する。 ・モデル事業に係る外部講師の紹介を受ける。
平成16年1月	<p>外部講師との連携 (指導の依頼)</p> <p>広島大学大学院生活圏化学研究科 助教授 中坪 孝之</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の事業全体に対する指導助言の依頼 (来年度の指導を了承)
平成16年2月	<p>「総合的な学習の時間」モデル事業に係る小中高合同研修会 講師 京都府立北稜高等学校 井上待子 教諭</p> <p>参加 豊栄町教育委員会 豊栄中学校・小学校 福富町教育委員会 福富中学校 賀茂北高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境について、保小中高一体となった取組みを実践していくために、先進校の研究成果について研修を受け、具体的な取組みに結びつける。

実施時期	取組み概要	取組みのねらい等 (事業の評価の観点も含む)
平成16年4月	「総合的な学習の時間」の取組み開始	別紙 「2年生用指導案」参照
平成16年9月	環境ウィークの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で環境に関係する教材を作成し，授業を集中的に実施する。 <li style="padding-left: 2em;">フィールドワーク <li style="padding-left: 2em;">教科横断的な授業 <li style="padding-left: 2em;">T Tの実施
平成16年度 1・2学期	<ul style="list-style-type: none"> ○H. O. Tサービスプランの実施 ○花壇の整備活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ環境整備活動+校外清掃活動の実施 ・EM菌あるいはミミズを利用し，生ゴミを有機肥料と有機土壌に変えプランター等で活用する。 ・総合的な学習の時間を活用して，小中高で共通の取組みを行う。
平成17年3月	報告書提出	